

「国宝 一遍聖絵」展が 開催されます

時宗の開祖一遍の生涯を描いた国宝「一遍聖絵」が本市で公開されます。全12巻の絵巻の全てが公開される貴重な機会です。

問い合わせ

ハローダイヤル☎03(5777)8600
(9月25日(金)～12月15日(火)午前8時～午後10時)または郷土歴史課☎内線5313

時宗の開祖である一遍上人が片瀬浜で踊り念仏を行う様子が描かれるなど、本市にもゆかりのある国宝「一遍聖絵」が遊行寺宝物館で公開されます。これは大変貴重な絵巻で、全巻同時に一般公開されるのは、今回が初めての試みです。今回は、県立歴史博物館、県立金沢文庫との共同で展示が行われます。

展示会場

●遊行寺宝物館(第1会場)

会期 ◎10月10日(土)～11月16日(月) 全12巻の展示
◎11月20日(金)～12月14日(月) 第1・7・11・12巻の展示
ともに午前10時～午後5時(最終入館は午後4時30分)
※休館日=毎週火・水・木曜日(11月3日を除く)
費用 800円(小・中学生400円、未就学児は無料)
※団体割引あり

●県立歴史博物館(第2会場)

会期 11月21日(土)～12月13日(日) 第4・5・6・10巻を展示
問い合わせ 県立歴史博物館☎045(201)0926

●県立金沢文庫(第3会場)

会期 11月19日(木)～12月13日(日) 第2・3・8・9巻を展示
問い合わせ 県立金沢文庫☎045(701)9069

●東京国立博物館 本館

会期 11月3日(祝)～12月13日(日) 別本の第7巻と関連作品を展示
問い合わせ ハローダイヤル☎03(5777)8600



片瀬浜の踊り念仏(第6巻)〈清浄光寺(遊行寺)蔵〉

一遍聖絵の世界

一遍聖絵(一遍上人絵伝)は、国内最古の絹本著色絵巻です。総長は約130mで、一遍の誕生から51歳で亡くなるまでの遊行の足跡が描かれています。一遍の弟子の聖戒が詞書を、画僧の円伊が絵を担当し、1299年に完成しました。

美術品としての価値に加え、一遍の没後から10年以内に制作されていることから、鎌倉時代の人々の生活や景観を伝える歴史資料としても高く評価されています。



県指定 紙本墨画淡彩 一遍上人像
(清浄光寺(遊行寺)蔵)

一遍上人とは

一遍(1239～89)は鎌倉時代の僧侶で、時宗の開祖です。伊予(愛媛県)の生まれで、北は岩手県北上市から南は鹿児島県霧島市まで全国各地を巡りながら人々に念仏を勧めました。

遊行上人または捨聖とも呼ばれ、盆踊りの起源ともいわれる踊り念仏を行ったことで有名です。

関連イベント

●「国宝 一遍聖絵」展記念講演会

とき 10月17日(土)午後2時～4時
ところ 遊行寺
講師 遊行寺宝物館館長遠山元浩氏
定員 100人(先着順)
費用 無料
申し込み・問い合わせ

10月1日(木)午前9時から電話で郷土歴史課へ

●連携企画 図書館での展示を行います

「一遍聖絵」を写真パネルで紹介します。また関連図書の展示と貸し出しも行います。

★総合市民図書館 10月15日(木)～27日(火)

★湘南大庭市民図書館 10月27日～11月23日(日)

★辻堂市民図書館 12月1日(火)～13日(日)

※展示時間は、各図書館にお問い合わせください

問い合わせ 総合市民図書館☎(43)1111、湘南大庭市民図書館☎(86)1666、辻堂市民図書館☎(35)0028

一遍聖絵4館共同スタンプラリー「一遍上人と歩こう」

「国宝 一遍聖絵」展を全館巡り、鑑賞してみませんか。

11月3日～12月14日

※スタンプラリー終了者には、記念品あり

※台紙は湘南FUJISAWAコンシェルジュ、東京国立博物館で配布しています